

資料：事前に寄せられたご意見

【ご意見1】

このメールでは（素案）のなかでいくつか修正していただきたいことを記載します。太赤字部分。

- ① P7 L8 ～市民の中には、**国民の税金の使い道としては**単に漁業者が厳しい労働環境を強いられていることのみをもって**鎌倉**漁港建設を進めるべきではないとする～
- ② P15 L1 ～海其自然環境が悪化、**また、水難事故誘発になる**ことを懸念している。
- ③ P17 《追加》●**専門家が海中や潮流の調査をするのなら風の日ばかりでなく荒天時も調査すべきである。**
- ④ P18 L18 ～ワークショップの議論の中で確認された。漁港建設における市民による合意形成もその一つである。
が、というのを。**に**変えていただきたくよろしくお願いします。

【ご意見2】

報告書（素案）について、訂正・追加等お願い致します。

p2（中段）

また「漁港建設の課題」、「水産業振興支援の必要性」においては・・・「鎌倉地域の漁業の就業環境は厳しく」の後に→「環境に対しての配慮」

p11<漁業や漁港に対する意見>

漁対協案であげられている現在の候補地については、他港の事例から見ても鎌倉湾内の海水浴場や海レク活動エリアにも、侵食・堆積・潮流の変化・・・などによる環境被害が及ぶ可能性が高い為、反対である。

p12・15

浜にコンクリートで&一緒に使うなら建設してもいい・・・の意見に、ウインドサーフィンは外してください。

ウインドサーファーは承認していない。海の安全管理の面から言っても、この案には反対しています。

地元のサーフショップも、素案の文面だと、今後、「最初反対したけど、取引して漁港建設に合意した様な誤解を招く」のでやめてほしいそうです。

p13<メッセージ>

- ・海では何かを守ろうとして構造物を入れると、局所的には守られても、周辺には被害が起きて、構造物が拡大していく（景観破壊の連鎖）という事例が沢山出ている。
今後何か対策をするのならば、鎌倉湾内は、後で後悔しない様に多角的に、将来の海を過去の事例からもちゃんと学んで考えてもらいたい。

- ・現在の坂ノ下の侵食は、稲村側の駐車場建設&テトラを入れてしまった所から始まった。
海に出っ張る漁港などを建設したら、現在まだ被害が最小限に抑えられている所へも侵食被害が拡大するので漁対協案は反対。
漁業者の安全対策は、海の環境にも十分配慮して行ってもらいたい。

p17<対応すべき課題>

- ・鎌倉地域の漁港建設=60年 というのは、正しい数字ですか？議員もよく「60年の悲願」といいますが、初めは堤防で、港自体は空期間もあるとなると???といつも思います。
おおげさに聞こえるので、改めてもらいたい。
- ・海、とくにポケットビーチと呼ばれる所は微妙なバランスで海や海岸環境が保たれているため、何かを計画するには十分配慮が必要である。
- ・いろいろな主体性が共存している湾内では、計画から十分な周知・配慮が必要。

※本表は事前に寄せられたご意見をページ順に整理したものです。

頁	ご意見
2	(中段) また「漁港建設の課題」、「水産業振興支援の必要性」においては・・・「鎌倉地域の漁業の就労環境は厳しく」の後に→「環境に対しての配慮」
7, 8	～市民の中には、 国民の税金の使い道としては 単に漁業者が厳しい労働環境を強いられていることのみをもって 鎌倉 漁港建設を進めるべきではないとする～
11	<漁業や漁港に対する意見> 漁対協案であげられている現在の候補地については、他港の事例から見ても鎌倉湾内の海水浴場や海レク活動エリアにも、侵食・堆積・潮流の変化・・・などによる環境被害が及ぶ可能性が高い為、反対である。
13	<メッセージ> ・海では何かを守ろうとして構造物を入れると、局所的には守られても、周辺には被害が起きて、構造物が拡大していく（景観破壊の連鎖）という事例が沢山出ている。 今後何か対策をするのならば、鎌倉湾内は、後で後悔しない様に多角的に、将来の海を過去の事例からもちゃんと学んで考えてもらいたい。 ・現在の坂ノ下の侵食は、稲村側の駐車場建設&テトラを入れてしまった所から始まった。 海に出っ張る漁港などを建設したら、現在まだ被害が最小限に抑えられている所へも侵食被害が拡大するので漁対協案は反対。 漁業者の安全対策は、海の環境にも十分配慮して行ってもらいたい。
12, 15	浜にコンクリートで&一緒に使うなら建設してもいい・・・の意見に、ウインドサーフィン は外してください。 ウインドサーファーは承認していない。海の安全管理の面から言っても、この案には反対しています。 地元のサーフショップも、素案の文面だと、今後、「最初反対したけど、取引して漁港建設に合意した様な誤解を招く」のでやめてほしいそうです。
15	L1 ～海の自然環境が悪化、また、 水難事故誘発になる ことを懸念している。
17	《追加》 ●専門家が海中や潮流の調査をするのなら風の日ばかりでなく荒天時も調査すべきである。
17	<対応すべき課題> ・鎌倉地域の漁港建設＝60年 というのは、正しい数字ですか？議員もよく「60年の悲願」といいますが、初めは堤防で、港自体は空期間もあるとなると？？？といつも思います。 おおげさに聞こえるので、改めてもらいたい。 ・海、とくにポケットビーチと呼ばれる所は微妙なバランスで海や海岸環境が保たれているため、何かを計画するには十分配慮が必要である。 ・いろいろな主体性が共存している湾内では、計画から十分な周知・配慮が必要。
18	L18 ～ワークショップの議論の中で確認された。漁港建設における市民による合意形成もその一つである。 が、 というのを。 。 に変えていただきたい。